

久米島

広 報

Kumejima Town News

3月号
2011
No.108

人口の推移
平成23年1月末現在

男	4,580人
女	4,119人
計	8,699人
世帯	3,905世帯



優勝へ『真っすぐ』
久米島から
スタート!!



C O N T E N T S

- | | | | |
|------------------------|---|--------------------------|-------|
| ● 久米島町新春書道展..... | 2 | ● 2011楽天春季キャンプ | 8・9 |
| ● 国民健康保険からのお知らせ | 3 | ● 町の話題..... | 10・11 |
| ● 年金を受けている方へのお願い | 4 | ● 消防だより | 12 |
| ● 『学校健診』を実施します!..... | 5 | ● 町民カレンダー | 13 |
| ● 女性の健康週間..... | 6 | ● 長谷 喜久一『久米島スケッチ展』 | 14 |
| ● 公立久米島病院だより | 7 | | |

第16回久米島町新春書道展

1月22日(土)・23日(日)町具志川農村環境改善センターにて第16回久米島町新春書道展が開催され、2日間で約240名の町民が足をはこんだ。本展への作品の出品は児童の部542点、一般の部(高校生含)42点、計584点の応募があった。22日(土)午前10時からオープニングセレモニーが開催され、実行委員長、副実行委員長、議長、文化協会長、教育委員長、審査員長の西蔵盛耕石氏、児童代表の清水小学校二年平尾文佳さんの7名でテープカットで本展の開催を告げた。表彰式には一般の部特別賞受賞者、学校団体賞、児童生徒の部特別賞・金賞受賞者が参加した。受賞者代表あいさつでは久米島西中学校二年平良政行君が受賞の喜びと感謝の言葉を贈った。作品展示は、23日(日)まで行われ、出品者や参加者は書くだけでなく、見ることにより書道文化の奥深さを学んだ。

【特別賞受賞者】	【一般・高校生の部】	【児童生徒の部】
沖縄県知事賞	仲地ひとみ	平良 政行(久米島西中学校 二年)
沖縄県議会議長賞	上江洲 工	平尾 文佳(清水小学校 二年)
久米島町長賞	兼元ちひろ(久米島高校 一年)	盛吉 真衣(大岳小学校 一年)
久米島町議会議長賞	安村真菜美(久米島高校 二年)	幸地 璃音(大岳小学校 四年)
久米島町教育長賞		山城 英莉(仲里小学校 三年)
久米島町文化協会会長賞	宮里 直美	比嘉 太(久米島西中学校 一年)
審査員特別賞	平良 椎奈(久米島高校 三年)	仲村 航(清水小学校 一年)
	大城 未来(久米島高校 三年)	幸地 真彩(大岳小学校 六年)
		山里 瑠香(大岳小学校 六年)
		仲村 帆南(仲里中学校 三年)
【団体の部】		
学校団体賞		大岳小学校



学対だより じんぶな～

平成22年度 沖縄県学力到達度調査

子供たちの基礎的な知識・技能及びこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の定着状況を把握するために小学校4年生、中学校2年生を対象に12月1日、2日の両日沖縄県学力到達度調査が行われました。

昨年度はほぼ全教科で県平均を上回りましたが今年度は中学英語のみとなってしまいました。調査は、知識を問うA問題と活用力を問うB問題に分けて行われましたが、特に小中ともB問題で県平均を大きく下回ってしまいました。思考力、判断力、表現力等を育てる取組を重点的に取り組んでいく必要があります。皆様のご協力をお願いします。

小 学 校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	
久米島町	69.8	47.4	71.3	41.6	
沖 縄 県	79.1	55.0	77.6	51.5	
中 学 校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	英語
久米島町	60.8	47.1	48.3	43.7	60.0
沖 縄 県	64.8	52.7	50.9	48.9	58.6

認知症を正しく理解するためのシリーズ⑨

～「認知症」になっても安心して暮らせる町づくりをめざして～

「平成22年度 主な事業報告」

1. 認知症サポーター養成講座は、小学生・商工会女性部・地域サロンの皆様、役場職員等が受講し、2月1日現在で、559人の認知症サポーターが誕生しました。これは久米島町総人口の6.47%にあたり、県内トップの割合です。
2. 認知症サポーターのいるお店・事業所へ、「サポーターシール」を店頭へ貼付・・・8事業所に交付。認知症になっても安心して買い物や利用が出来るお店や事業所だという印です。
3. 「認知症を支える町づくり」のコーディネーター『宮里恵美子さん』(久米島町から委嘱)による認知症相談会を1月から3月まで毎週火曜日の午後行っています。数名の方が相談しており、良い反響が寄せられています。
4. 仲村渠地区では支え合いマップを作成中です。

H22年度 町民のみなさまには、認知症について正しく理解してもらい、安心して暮らせる町づくりの為に協力して頂き、ありがとうございます。今後ともご協力よろしくお願いします。

国民健康保険からのお知らせ

※国民健康保険被保険者証の一斉更新について

久米島町の国民健康保険被保険者証(保険証)の有効期限は平成23年3月31日までとなっております。そのため新しい保険証への更新が必要になります。

今回一斉更新で交付される新しい被保険者証は平成23年4月1日から使用するもので、有効期限は平成24年3月31日までとなります。

国税の最終納期である第8期納期限の平成22年2月末日までに国民健康保険税を全額納めている加入者については、3月中旬から下旬にかけて被保険者証に記載された世帯主宛に送付します。配達方法は第三者の手に渡らぬよう、直接手渡しによる配達でお届けすることとなります。

期限内に納めていない加入者については、従来通り、役場窓口での交付となりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

※被保険者証を更新せずに医療機関を受診した方については、全額自己負担となります。さかのぼって被保険者証の交付はしませんので有効期限を切らすことのないように更新しましょう。

被保険者証更新後の有効期限切れ被保険者証(古い保険証)につきましては、有効期限が切れていることを確認し、ご自身でもって処分されるか、役場福祉課国保係、または具志川庁舎総合窓口へ返却して下さい。

※遠隔者用・学生用被保険者証の交付について

遠隔者用・学生用被保険者証の交付を希望される方は毎年申請手続きが必要ですので、役場にて交付を受けて下さい。(学生の場合は、在学証明か学生証のコピーをご持参ください)

原則として次の理由以外の遠隔被保険者証の交付は行ないません。

- 生活の実態が島外にあると確認される場合
- 数ヶ月の短期就労のため
- 旅行の場合等、上記以外の理由による場合等をご相談ください。

※何年も島外で生活している実態がある場合には、本来、生活実態のある居住市町村の保険で医療を受けるべきであるため、居住地への住所変更の指導を行ないます。

＜お問い合わせ＞ 久米島町福祉課 国民健康保険担当 ☎098-985-7124

募集中

久米島町では、高齢者の予防活動や教室運営に協力してくれる方を募集しています。

「資格は持っているけどフルでは働けない…」「資格はないけど、やってみたい。」といった方を大募集します。

募集資格

看護師・保健師・栄養士・一般の方等(時間等は相談に応じます。)

業務内容

高齢者運動教室での運動補助、健康相談、その他業務。

待遇面についてはお問い合わせください。

お問い合わせ

福祉課 TEL:985-7124



『地デジ機器購入支援します』

＜支援内容＞

地上デジタル機器の購入費用等の一部(最大12,000円)を支援します。

さらに、対象離島に在住で、テレビの買替によりアナログテレビをリサイクルする世帯に、3,000円支援します。

＜支援対象＞

下記の条件をすべて満たした世帯のみとなります。

1. 沖縄県在住世帯
2. 現在、世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯
3. 平成21年12月1日以降に初めて対象機器を購入した世帯
4. 受信機等の購入などが、領収書等により確認できること。
5. 総務省が実施する地上デジタル放送受信機器購入等支援事業の支援を受けられない世帯であること

＜お問い合わせ＞

地デジ支援し隊事務局

TEL:098-951-2700(平日9:00~17:00)

ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/chide-ji/>



～年金を受けている方へのおねがい～

皆様が安心して年金を受けるためには、さまざまな手続きが必要です。

- 年金を引き続き受け取るためには、毎年誕生月の末日までに「年金受給権者現況届」(現況届)を提出しなければなりません。「現況届」のはがきは、毎年誕生月の初め頃に送付されます。住所、氏名などを書き、必ず誕生月の末日までに社会保険業務センターに到着するように提出してください。ただし、**住民基本台帳ネットワークシステム**を活用して確認できる(住基コードを登録された)方については、はがきの提出は不要です。

- 年金は、あなたが希望された金融機関やゆうちょ銀行で支払われます。住所や支払機関を変更したときは、「住所・支払機関変更届(はがき)」を最寄りの年金事務所・年金相談センターに提出してください。

- 「年金証書」を汚したり、無くしたりしたときは、「年金証書再交付申請書(はがき)」を提出してください。

- 氏名が結婚等により変わったときは、「年金受給権者氏名変更届」を提出してください。

- 年金を受けている方が亡くなったときは、すみやかに「年金受給権者死亡届」を提出してください。死亡届には、「年金証書」のほか死亡の事実を明らかにできる書類(戸籍抄本、死亡診断書など)を添えてください。**この届が遅れますと、年金を多く受け取り過ぎて、後で返さなければならなくなることもあります。**

また、年金は死亡した月の分まで支払われます。死亡した方に支払われるはずであった年金が残っているときは、遺族の方にその分の年金(未支給年金といいます。)が支払われます。未支給年金を受け取ることのできる遺族の方は、年金を受けていた方の死亡当時、その方と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母または兄弟姉妹です。

- 年金を受けていた方が亡くなったときは遺族年金(給付)が受けられる場合があります。「遺族年金(給付)裁定請求書」に必要な書類を添えて、最寄りの年金事務所、または年金相談センターや市区町村役場の窓口提出してください。

遺族基礎年金(給付)を受けることができる遺族および順位

第1順位	18歳到達年度の末日(3月31日)までの子、または20歳未満で、1級・2級の障害の状態にある子と生計を同じくしている妻
第2順位	18歳到達年度の末日(3月31日)までの子、または20歳未満で、1級・2級の障害の状態にある子

* はがきや、届書の様式は年金事務所・役場福祉課に備え付けています。



ご相談は「ねんきんダイヤル」
(IP/携帯電話から)
浦添年金事務所
久米島町役場 福祉課

TEL:0570-05-1165
TEL:03-6700-1165
TEL:877-0733
TEL:985-7124

「学校健診」を実施します!



久米島町では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金により「生涯にわたる健康管理システムの構築事業・学校健診」を平成23年4月の身体測定時に実施することになりました。



これらの疾患の**最初のシグナルが学童期に現れることがある**ことから、まず最初のシグナルを見落とさない事が重要です。**幼児期や学童期では単なる肥満が、青年期には糖尿病や慢性腎臓病、壮年期には脳梗塞や心筋梗塞あるいは人工透析**になりやすくなってしまいます。**心筋梗塞、人工透析等は高齢者になってからの重症化症状であったのが、最近では40代～50代の若い働き盛りの年代で起こっています。**

「学校健診」は、**全小学校5年・6年、全中学生、全高校生**を対象に特定健診と同じ内容の検査を実施します。

子供たちや保護者の皆様に、現在の生活を続けることで将来どのような病気を引き起こす可能性があり、どのように生活習慣を改善していけばよいのかを健診結果を元に支援していきます。

「学校健診」の実施にあたり、保護者の方には同意書を提出していただくことになっております。各学校より配布し、提出先も各学校となっておりますので、ご協力お願い致します。

「健診結果の一本化」について…



久米島町としては、乳幼児期から高齢期まで一貫した健康支援を行っていくことが理想ですが、乳幼児健診、小・中・高校生の学校健診、成人になると事業所健診や特定健診、高齢者になった場合の長寿健診というように健診を実施する所管が異なるため、健診結果の管理もその各所管と本人による管理となっています。そのため、生涯をとおして一貫した健康支援ができていないのが現状です。幸いのこと日本はすべての年代において健診をうけることができる世界で唯一の国です。それらの健診結果を1つにすることで生涯にわたって専門家による健康支援を受けることができ、重症化を予防することができると思っています。

- ① 保護者保有の母子手帳の記録
- ② 久米島町立幼稚園保有及び今後実施の身体測定・尿検査・健康診断の結果
- ③ 久米島町立小学校保有及び今後実施の身体測定・尿検査・健康診断の結果
- ④ 久米島町立中学校保有及び今後実施の身体測定・尿検査・健康診断の結果
- ⑤ 沖縄県立久米島高校保有及び今後実施の身体測定・尿検査・健康診断の結果
- ⑥ 久米島町保有の健診結果(乳幼児健診等)

以上の6つの健診結果をご提供いただき、生涯にわたる健康支援を行っていきたいと考えています。

事業の趣旨をご理解のうえ、各学校より配布される同意書に同意・不同意のどちらの場合でも保護者の方がご記入の上、確実に各学校へ提出されますようお願い致します。



女性の健康週間



3月1日～8日は女性の健康週間です!!

すべての女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を過ごすことを総合的に支援するため「女性の健康週間」が創設され、女性の健康づくりが国民運動として展開されています。

30～64歳女性の、がんによる死亡原因のトップは乳がん!

●代表的な自覚症状はしこり

乳がんは乳腺(母乳を作るところ)に発生する悪性腫瘍です。症状は痛みを伴わない「しこり」が90%以上です。他には乳頭からの出血、乳首や乳輪のただれなどさまざまです。

乳がんの初期には、体調不良などの自覚症状はほとんどありません。また、自己チェックで見つけれられるといても、早期のがんは触るだけではわかりません。**早期発見には、やはり『がん検診』が有効**です。

●増加し続ける乳がん患者

乳がんにかかる女性は**30代で急増し、50代でピーク**になります。

日本で1年間に乳がんと診断される女性は**1年間で4万人**にもものぼります。

これは女性の18人に1人の割合です。

しかし、乳がんが女性にとって関心の高い病気であるにも関わらず、一度も検診を受けたことのない人が多いため、日本では今後、乳がん患者数のさらなる増加が予測されています。

●乳がん検診

国が推奨する乳がん検診は、原則として、マンモグラフィを行い、視触診も併用する方法。対象は40歳以上、頻度は2年に1回です。これに超音波検査を加えるとさらに早期がん発見の精度が高くなります。また、20歳～39歳の女性も超音波検査を受けることをお勧めします。

マンモグラフィ検査

乳房のX線撮影のこと。乳房を透明なプラスチック板ではさんで、平らにして撮影。乳房を圧迫するため、多少の痛みを感じる人もいるが圧迫する時間は数秒間です。

超音波検査(エコー)

皮膚の表面から超音波をあてて、乳房やわき下のリンパ節を調べる。

マンモグラフィで見つけにくいしこりを発見でき、放射線などを使わず無害なので何度でも受けられる。

早く小さいうちに見つければ乳房を残すことができる!

乳がんは進行度によって0期～Ⅳ期の5つのステージに分かれ、それによって治療方法は変わってきます。

早期に発見できれば、手術療法や薬による治療など幅広い選択肢から自分で選ぶことができますが、進行してしまうと乳房全体を切除することになり、手術法の選択肢も少なくなります。命だけでなく、すべての側面で早期発見が重要です。

2年に1度は乳がん検診を必ず受けましょう!
★早期発見・早期治療で安心した生活を★

公立久米島病院だより



小児科専門医
伊藤 淳

久米島で過ごした3年間は本当にあつという間でした。

病院受診する病気の子どもは全体から見たらほんの一部で、ほとんどの子どもたちは病院に来ることなく元気に生活しています。その元気な子たちの心身の健康にどうアプローチするかを模索した3年間でした。

小学校では内科健診、就学時健診の他に、月に1回は健康相談を行うようにしました。毎回健康相談の希望者がいるわけではなかったですが、学校に出向くことで子どもたちと交流し信頼関係を築き、先生方との情報交換ができました。また体を大切にすることを伝えたいという思いから、いのちの授業や薬物乱用防止教室を行いました。学校での授業は全くの素人でしたが、機会を設けてくださった校長先生、授業のヒントやコツなど相談に乗っていただいた先生方には本当に感謝しています。3年間で少しは授業も上達したかなと思います。

子どもが小さければ小さいほど、ご両親やご家族の心身の健康が大事であることも実感しました。小児科医の仕事はそれこそ病気を診るだけでなく、家族の不安に寄り添い向き合うことも大事だという、とても大切なことを学びました。

このままずっと久米島にいたいという気持ちもありますが、未熟な自分にはまだまだ勉強が必要です。4月からは東京に出て大学院に通うことにしました。いろいろな経験を積んで、いつかまた久米島に帰って来たいと思います。

本来なら子どもたち、ご家族一人一人に直接会ってご挨拶したいところですが、この紙面をもって代えさせていただきます。本当にありがとうございました。



内科・総合診療科
座喜味 盛哉

久米島病院に赴任したのは医師4年目の春でした。期待と不安のなか久米島生活を始めたのが昨日のこのように思われます。同僚や島民の皆さんに支えられこの3年間に駆け抜けることができました。

仕事だけでなく、久米島マラソン、楽天キャンプなどのイベントに関わらせていただき、また部落(主に儀間)のエイサーや行事でも、島生活を楽しむことができました。

仕事の面では老人ホーム、訪問診療など病院外の活動もいい経験になり、医者として成長させてもらえたと思います。今後の目標もみつけることができました。

しかし経験が浅く、失敗してご迷惑をおかけすることも多くありました。「今できることはできる。だけど今できることしかできない。」と力不足を実感しました。医師としても人としてもステップアップのために更なる経験が必要と思い今回一度卒業することにしました。

3年間、久米島を医療側から見てきて感じたことがあります。久米島のみなさんが今後も安心して末永く過ごしてほしいという願いを込めて一言言わせていただきます。

「いつまでもあると思うな久米島病院」

4月からの医療体制は何とか確保できそうですが、今後は県からの職員派遣がなくなるため、医師、看護師、技師の人材不足で病院自体の存続が厳しい状況です。病院がなくなると、修学旅行の誘客やプロ野球キャンプの誘致などの面で島内産業に影響がでます。島民のみなさんと病院が協力して、存続させてください。島出身で医療職に就いている方々に、久米島病院の核になってもらうのも一つだと思います。

これからもなんらかの形で久米島に関わっていきたいと思いますので、どこかで見かけたら声をかけてください。本当に3年間お世話になりました!

新人観光PR



春季久米島キャンプ



町民歓迎交流会



楽天杯少年野球大会
優勝・清水ブルーファイトースA



2011

東北楽天ゴールデンイーグルス



少年野球教室



TOWN TOPICS

町の話題

第40回なかさと交流

第40回なかさと交流会交流団(大川実団長他児童14名・引率7名)が2月17日(木)から20日(日)まで新潟県十日町市(仲里地区)を訪れ、各学校での交流やホームステイを体験した。

子ども達は、初めて見る雪景色に大きな歓声をあげた。

2泊3日のホームステイでたくさんの人々との出会い、家族の皆さんの温かい心に触れ、雪国での体験をとおして友情を深めた。



ーJFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催

2月23日(水)元Jリーガーで横浜フリューゲルスで活躍した前田治さんを講師に迎えJFAこころのプロジェクト「夢の教室」(主催:日本サッカー)が開催された。

前田氏はミニゲームや講話を通して「夢に向かって常に目標を持ち、努力することの大切さ」を児童たちに語った。



久米島紬「帯」新作発表会

久米島紬を広くPRし、技術の向上、地域の活性化を図ることを目的とし、沖縄県の「自然・伝統文化を活かした交流促進事業」において制作した久米島紬「帯」の新作発表会を「久米島紬の日」にあたる2月6日(日)、イーフビーチホテルで開催した。発表会では制作スタッフの力作22点が披露され、会場を大いに盛り上げた。

久米島紬事業協同組合の松元理事長は「これからも新たな商品開発・販売促進へ向けて日々励んでいきたい。」と意気込みを語った。



玉城民雄氏県知事表彰受賞

呉志川歯科医院、玉城民雄氏が永年の保健医療の向上発展と県民福祉の増進に貢献した功績が讃えられ、県知事表彰を受賞した。同氏はこれまで30年余にわたり地域住民にの歯科診療に従事し、町民の歯科疾患の予防と治療、乳幼児健診や歯科教室での口腔保健指導、保育所でのフッ化物洗口の開始など母子歯科保健の向上、学校へのフッ化物洗口の導入と推進に尽力された。



坂井了爾氏を偲ぶ

宇大原開墾に偉大な功績を残した、坂井了爾氏を偲ぶ会が同氏の命日である2月10日墓前で行われた。久米島糖業の恩人である坂井氏は、大原移住団を引率してきた初代監督官(県職員)で、明治18年(1885)年4月、開墾移住団と共に久米島に渡り大原を開拓、サトウキビ栽培を初めて久米島に伝えたと言われる人物である。移住団一行の先頭に立ち、誠実で良き指導者として厚い信頼を得ていた同氏だが、明治19年志半にして病死した。大原区長は「100年余に渡り地域行事として継続してきた。豊作が続いているのは坂井さんに見守られているからだと思う」と挨拶した。



～第1回久米島町景観計画検討委員会～

久米島町らしい景観形成に係る方針等の景観計画原案を作成するため、ワークショップの意見を基に専門的かつ多角的な視点から検討する委員会を設置しました。

その第1回目の委員会を2月15日(火)に行い、久米島町の景観特性及び課題を踏まえ議論しました。ここで作られる原案は次年度に公募等により町民の意見を反映させた後、平成24年度に景観計画として施行する予定です。



日頃の成果を発表

2月9日(金)具志川改善センターにおいて、「久米島町音楽発表会」が開催され、町内全小学校の児童等が日頃の練習の成果を披露した。



(写真提供：盛長容子氏)

ナベヅル飛来

2月2日、絶滅危惧II類のナベヅル1羽が兼城の牧草地に飛来しているのが確認された。時折、首を伸ばし周囲を警戒しながら、餌をついばんだり毛繕いする姿を見せた。町での確認は、初めて。

ナベヅルは頭部から首の上半分が白く、体は灰黒色。額の赤色が確認できないので、幼鳥とみられる。2009年には、カナダヅル2羽とクロヅル1羽が飛来して、話題となった。



(写真等提供：盛長容子氏)

職域バドミントン大会 2/1・3開催

優勝 レッドスピナッチ (海洋深層水研究所)

準優勝 久米島高校 A

3位 ハブインパルス (自衛隊)





TEL098-985-3281

消防だより



文化財を火災から守ろう



法隆寺金堂壁画が焼損した日(昭和24年)に当たる、1月26日を「文化財防火デー」と定め、この日を中心として文化財を火災、震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意志の高揚を図る目的に行われています。

1月26日(水)町指定文化財「君南風殿内社殿」及び、久米島自然文化センターにおいて、関係者による消火器取扱訓練を実施しました。

町の貴重な財産を火災や、その他災害から守るために毎年実施し、文化財関係者及び地域住民の防火意識の高揚を図っています。

「町民の皆さん、文化財と認定された建造物の内部や

周囲での喫煙、裸火の使用、火災予防上危険な物品の持ち込みをしないように心がけ、貴重な文化財を火災から守りましょう。」



『「消したかな」あなたを守る合い言葉』

—平成23年春季全国火災予防運動—

「火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐこと」を目的に3月1日(火)から7日(月)まで行われます。

この間、一日消防長による特別点検及び防火査察、独居老人防火診断等が実施されます。



～消防水利付近での違法駐車は絶対にやめよう!!～

町民の皆さん、「消火栓」及び「防火水槽」をご存じですか。

消火栓及び防火水槽とは、火災が発生したときに、消防隊が消火活動を行うために使用する「消防水利」のことです。

一般的に、道路脇や歩道上に埋められている四角や丸い鉄の蓋がその目印となっていますが、この付近での駐車は法律で禁止されています。

消防隊は、住民の生命、身体、財産を火災から守るために、日頃から厳しい訓練を重ねていることはもちろんですが、町内の地形や建物の状況等の調査も行っています。

特に、消火栓や防火水槽など消火活動に欠かすことのできない消防水利については、定期的に調査、点検を行い、いつどこで火災が発生しても直ちに対応できる体制をとっています。

しかし、どんなに消防自動車が現場に早く到着しても、消火栓の蓋の上に車が停めてあったために、放水が溢れてしまったケースや、狭い道路上に駐車車両があったために、消防自動車が火災現場に接近できなかったケースなど、消防活動を行う上で違法駐車は様々な障害となっています。

火災は、いつあなたに襲いかかってくるかわかりません。

火災から皆様自身の命や財産を守るためにも、消火栓や防火水槽付近での違法駐車は絶対にやめましょう。



1月出動状況()は、平成23年累計

- 救急 35件(35件)
- 風水害 0件(0件)
- 火災 0件(件)
- 捜索 0件(0件)
- 救助 0件(件)
- その他 1件(1件)

合計 36件(36件)

町民カレンダー

Kumejima Calendar

1 火曜日 1月27日	・認知症相談窓口(老人福祉センター)		21 月曜日 17日	
2 水曜日 28日	・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)		22 火曜日 18日	・認知症相談窓口(仲里庁舎憩いの間)
3 木曜日 29日	・DPT予防接種(具セ/14:00~15:00)		23 水曜日 19日	・町立小学校卒業式 ・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)
4 金曜日 30日			24 木曜日 20日	・町立小・中終了式 ・町議会(本会議)(議場:AM10:00~)
5 土曜日 2月1日			25 金曜日 21日	
6 日曜日 2日			26 土曜日 22日	
7 月曜日 3日			27 日曜日 23日	
8 火曜日 4日	・認知症相談窓口(老人福祉センター)		28 月曜日 24日	
9 水曜日 5日	・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00) ・町議会3月定例会開会(本会議)(議場:AM10:00~)		29 火曜日 25日	・認知症相談窓口(仲里庁舎憩いの間)
10 木曜日 6日	・町議会(本会議) (議場:AM10:00~)	<p>議会を傍聴しませんか? —3月定例会— ・本会議 9・10・11・24日(予定) *日程は内容により変更 になる場合があります。 問い合わせ/議会事務局 (TEL:985-7128)</p>	30 水曜日 26日	・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)
11 金曜日 7日	・町議会(本会議) (議場:AM10:00~)		31 木曜日 27日	
12 土曜日 8日	・町立中学校卒業式		1 金曜日 28日	
13 日曜日 9日		2 土曜日 29日		
14 月曜日 10日	・ベビーマッサージ教室(仲セ/10:00~12:00)	3 日曜日 3月1日		
15 火曜日 11日	・認知症相談窓口(老人福祉センター) ・離乳食実習【妊婦・乳児前期】(仲セ/13:00受付)	4 月曜日 2日		
16 水曜日 12日	・離乳食実習【乳児中期・後期】(仲セ/13:00受付) ・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)	5 火曜日 3日		
17 木曜日 13日		6 水曜日 4日	・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)	
18 金曜日 14日	・町立幼稚園卒園式 ・食育の日	7 木曜日 5日		
19 土曜日 15日		8 金曜日 6日		
20 日曜日 16日		9 土曜日 7日		



「仲泊の店 1960.1.1」

長谷 喜久一

NAGATANI KIKUICHI

久米島スケッチ展

平成23年3月30日〔水〕～5月8日〔日〕

午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日■毎週月曜日、国民の祝日(こどもの日、文化の日を除く)

久米島自然文化センター

入場無料

長谷 喜久一氏は、昭和34年9月から昭和35年3月まで、文部省の沖縄派遣教育指導員として久米島に滞在し、その間、島の風景を数多く描きました。

長谷氏の描いた久米島の風景画約33点が、このたび久米島町へ寄贈されました。そのことを記念し、自然文化センターで展示会を開催いたします。

穏やかな色彩で描かれた約50年前の久米島と、嘉味元 絜仁氏(真謝在住)撮影の現在の風景写真と併せて展示します。

是非この機会に、多くの皆様にご観覧頂きたいと思っております。



長谷 喜久一氏